

## 第3回別海町自治推進委員会 概要

開催日時：令和8年2月25日（水）午後1時30分から午後3時00分

開催場所：別海町役場 3階 302会議室

出席委員：大森和男、武田隆、高橋智美、棚橋昌博、中澤豊子、平澤珠美、麻郷地聡  
（欠席委員 今井加奈、大橋正汰、佐藤瑠依、吉野朋博）

### <会議次第>

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事  
議題1 意見書（案）について
- 4 その他  
報告1 次期別海町自治推進委員の公募における申込状況について  
報告2 別海町における人口の現状について
- 5 閉会

### 1 開会

### 2 委員長挨拶

### 3 議事

#### 議題1 意見書（素案）について

事務局から項目ごとに意見書の記載の内容について説明し各委員に内容について確認  
また、委員長から本日の修正については事務局にて整理した内容を委員長で確認し、意見書の文言を確定させることでよいか確認し、全出席者において了承。

#### 1 「情報の共有と情報の提供」

##### 【意見、質問】

委員

<町民が気になる内容を積極的に～>の部分はぼんやりしているから、ここでの記載は  
なくした方がよいのでは。詳細は別添の図において記載されているため、ここでは細かい内  
容は不要と考える。

また、<まとめて分かる方法>は、<広く共有される>の方がよいと考える。

#### 2 「困りごとや課題解消のための協働の推進」

※素案の「その他」の内容を条例に照らし合わせて新たな項目として記載した

## 【意見、質問】

### 委員

<町内会に代表される住民団体が>と始まるが、団体のみではなく、住民個人も含めて相談可能なように直すべき。

## 3 「町民参加と推進方法」

### 【意見、質問】

#### (1) 参加意見できる仕組み

##### 委員

懇談会などは短い時間で多数の人がいると進まない→少人数が望ましい

町長と話そう等地域懇談会について、広報の方法に工夫が必要

サークルや友人、ご近所仲間等でも可能になるようなメニューがあるとよい

(現状、団体と町長の懇談)

#### (2) 子ども用講座

意見等なし

#### (3) ニーズ把握と対処

##### 委員

まずは、アンケート等が実施されていることが周知されていることが望ましい。アンケート等の意見公募が実施されていることに気づかない

質問事項が長すぎ。簡単にして参加しやすくしたほうがいい

本当に思っていることを答えられるようなアンケート内容が必要

住民ニーズはアンケートだけでは把握困難、今後方法を検討していく必要のある課題と考える。一般の町民の意見を引き出すにはどのような方法が適切だろうか？

## 4 「まちづくりと地域のコミュニティ」

### 委員

文章がよくわからない部分が多いので整理が必要。(助詞について見直しを)

## 4 その他

### 報告1 次期別海町自治推進委員の公募における申込状況について

事務局

現在の委員の任期については令和8年3月31日までとなっていることから、次期の委員について町広報誌、公式LUNEやHP、SNSを通じて募集していた。(昨年12月1日から1月31日まで)が申し込み状況は、0件であった。

委員長

現在11名の委員だが、条例上は15名の定員である。人数が多い方が様々な意見もあると思う。再度の公募はできないか？

事務局

公募はできても広報には掲載できないため、周知が十分にできないと考える。皆さんの周りに委員に適任な方がいればご紹介いただきたい。

### 報告2 別海町における人口の現状について

事務局

事前に配布している資料2について説明、資料や人口の現状に対する意見として次の点など、各委員に率直な意見やアイデアを求めた。

ご意見をお聞かせください

---

**①身近な実感について**


- ・ 日常生活や仕事の場などで、「人が減ったな」「大変になったな」と実感する場面など

**②町の取組について**

- ・ 日今の町の政策・事業で「これは良い」「効果がある」と感じるものなど
- ・ 逆に、「もっとこうすれば良いのに」という点

**③工夫・アイデア**

- ・ ○○を工夫すれば、今の人数でもやっていける。
- ・ 若い人が住みたくするためのアイデアなど

 21

#### 委員からの意見

- ・人口減少は実感が出てくるようになったら既に危険信号である。
- ・別海に行っても良いけど働く場所がないということになる。そのような話も聞く。
- ・企業誘致がどうなっているか気になる。期待している。大企業を誘致するなども必要ではないか。
- ・他の町と同じことではなく、何か突き抜けたものが必要だと思う。
- ・協力隊はどのような目的を持ってきているか。
- ・協力隊の卒業者・移住して長くいる人が、どのような意見を持っているか聞き取るべき（ミスマッチ、定住のための条件など）
- ・町内に子どもを遊ばせる場所がない。中標津のゆめの森に遊びに行っている。
- ・家族連れで移住する場合は、まず医療の確保が最優先になる。続いて、出産から子育てまでの切れ目ない支援。お金ではない。
- ・医療や子育ての環境は、移住してからもあまり変わらない。（医師が少なくなるなど、悪くなっている面もある。）
- ・町内の空き家、空き店舗活用に課題があると感じる。
- ・空き店舗の活用については、住民からパン屋をやりたいなど、色々希望も寄せられるが、空き店舗の所有者がOKしない現状がある。
  - 物件の仲介があれば、空き店舗利活用が進むのではないか。
- ・上記のような、なかなか表にできない町民ニーズを収集することが必要。課題として取り扱うことが良い。

## 6 閉会